

議事録

会議の名称	令和2年度第1回戸田市総合教育会議
開催日時	令和2年7月16日(木) 13時00分 ~ 14時50分
開催場所	戸田市役所 4階 市長公室
出席者氏名	市長 : 菅原 文仁 教育長 : 戸ヶ崎 勤 委員 : 仙波 憲一 委員 : 鈴木 晃 委員 : 土肥 美奈子 委員 : 木村 雅文
欠席者氏名	なし
事務局	政策秘書室 室長 : 住野 昌洋 主幹 : 西野 香織 副主幹 : 重信 雄太 主任 : 井上 聡
出席職員	教育委員会事務局 部長 : 山上 睦只 参事 : 星野 正義 教育政策室 室長 : 佐藤 尚子 教育総務課 副参事 : 栗津 典浩 危機管理防災課 課長 : 石原 亮 資産経営室 課長 : 重松 浩之
議題	(1) 戸田市の教育振興に関する大綱について (2) 市民の安心をまもる学校における防災について (3) その他
議事内容及び結果	各議題について担当より説明を行った後、委員と意見交換を行った。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別添のとおり
傍聴人	3人
議事録調製	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>本日は、傍聴人が3名、お見えになっておりますので、傍聴人を入室させてください。</p> <p style="text-align: center;">《傍聴人入室》</p> <p>傍聴人の方に申し上げます。会議では静粛に傍聴されるようお願いいたします。また、会議の妨害となるような行為をしないよう、お願いいたします。</p> <p>それでは、只今から、「令和2年度第1回戸田市総合教育会議」を開会いたします。</p> <p>はじめに、菅原市長からご挨拶をお願いいたします。</p>
市長	<p>ただいまご紹介をいただきました、戸田市長の菅原文仁でございます。</p> <p>本日は、ご多忙の中にもかかわらず委員の皆様には貴重な時間を頂戴し総合教育会議を開催させていただきますことに御礼申し上げます。</p> <p>また、皆様には、新型コロナウイルス感染症が都市部を中心に広がる中、拡大防止の対策を進めながら、「とだっ子」の学びのため、大変な試行錯誤を重ねながら日々奮闘いただきまして重ねて御礼申し上げます。</p> <p>このたびのコロナ禍でにわかにオンライン学習の重要度が高まっておりますが、その中、戸ヶ崎教育長をはじめ皆様におかれましては、ICTを活用した教育改革を全国に先駆けて進めていただき、誇りに思っているところでございます。</p> <p>さて、今回の総合教育会議では、本年度末で所定の期間を迎える戸田市の教育振興に関する大綱や市民の安心をまもる学校における防災につきまして、忌憚なく意見を取り交わしたいと考えております。それでは、どうぞよろしくようお願いいたします。</p>
事務局	<p>菅原市長ありがとうございました。次に、出席者の皆様から自己紹介をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">《出席者自己紹介》</p> <p>それでは、本日の議題に入らせていただきます。会議の進行は、菅原市長をお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、はじめに議題(1)の「戸田市の教育振興に関する大綱について」でございます。</p> <p>私は、就任当初から教育委員会と連携し、幼・保・小・中の切れ</p>

	<p>目のない一貫性のある教育の推進を取り組んでまいりました。この切れ目のない一貫性のある教育推進を本市の教育振興に関する基本的な方針の一つとして継続して取り組みたいと考えております。</p> <p>また、その基本方針となる教育大綱は、教育振興計画を参酌して策定しており、本年度末で所定の期間を終えます。一方、現行の戸田市教育振興計画も本年度末で終了するため、教育委員会において教育振興計画の見直しを進めていただいている状況かと存じます。</p> <p>つきましては、新たな教育大綱が参酌いたします教育振興計画の検討状況について、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
出席職員	<p>教育振興計画は5年間を計画期間としていますが、今年度が現行の第3次教育振興計画の最終年度となるため、今後、第4次計画の策定に向けて検討を進めていく予定です。</p> <p>教育振興計画の役割としては、今後5年間に取り組む教育改革の方向性を明確化し、施策の立案・見直しにつなげるとともに、市民や教育関係者に、戸田市の目指す教育の方向性を理解してもらい、信頼を得るためのものと考えています。</p> <p>こういった視点から、現行計画の改善点として、3点考えています。1点目は、現行計画が、計画策定当時の施策を並列に並べていることから、5年間の中で社会や技術等の変化に応じて施策を変えるべき場合でも、そういった状況に対応しづらく、策定後の活用がしづらいこと。2点目として、計画に基づいて施策の見直しを図ろうとしても、設定されている数値目標の適切性が不明確で、毎年度の進捗のチェックが形骸化してしまっていること。3点目として、全体像がわかりづらく、市民を始めとした関係者にほとんど認知されていないといったことです。</p> <p>このため、今後策定する第4次計画においては、教育改革のビジョンが伝わるよう、個別施策の記載は省略し、基本理念・目標等の全体像を1～2枚程度で示すことを検討しています。なお、細かなデータや具体事例などは計画の補助資料として、HP等に掲載し、市民の方や教育関係者が知りたい事項に応じて調べられるようにしていきたいと考えています。また、最新のデータをもとに、その時々課題を捉え、施策の見直し等を行っていく、EBPMの核となるものとしていきたいと考えています。</p> <p>こういった考えから、新計画には、教育改革の基本理念や、目標・方針、モニタリング指標、また、市民に共感・理解してもらいやすいよう、計画に盛り込む事項が背景にあるストーリーなどをまとめ</p>

	<p>ていくことを検討しています。</p> <p>今後、関係部局から構成される教育振興計画検討委員会を立ち上げて検討を進め、パブリックコメントや教育委員会での議論をいただき、今年度中に策定することとしています。</p>
市長	<p>ただいま、「教育振興計画の見直しについて」について説明がありました。また、新たな教育大綱につきましても、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>大綱とか基本方針と銘打ったものは全体像がわかりづらく、インターネット上に載せて見やすくしていくという方法は時代に合っているのではないかと思います。</p> <p>大綱を策定するにあたっては、戸田市としてどのような人材が望ましいのかということを見据えた上で、どういう教育を行い、どういう子供を、結果的には市民を育てて行くのか、ということ住民と理解しあっていくことが大事です。</p> <p>個人が社会とどう結びつくかという議論もできますが、様々な人の意見を聞きながら最終的な行動の判断ができる子供を育ていき、その行動を通じて市・県・国といった社会に貢献していく、そういう人間に育つには教育はどうあるべきか、といった発想で大綱を策定していくことが良いのかと考えます。教育振興計画の見直しにおいて基本理念案として「生き生きと 共に育む 教育のまち戸田」とありますが、その点を具体的に定めることにより、親も地域住民も戸田市はこういった教育をしている、そのためにこのようなシステムを作っているということがわかっていただけるのではないのでしょうか。</p> <p>現在のところ、そういった子供が育つ一番良い教育環境が ICT 教育なのではないかと考えています。</p>
委員	<p>教育振興計画は戸田市の教育の柱になるものだと思います。現在、産官学民で連携を取って全国から脚光を浴びていますので、ぜひ今の戸田市の教育のやり方を進めていければいいと思います。</p> <p>子供が夢をいかに実現できるかということを経済という分野で支援していくことが大事であり、そういうものが教育大綱で定まっていれば、子供たちは安心してすくすくと伸びていきます。</p> <p>そして、戸田市が行っている中で素晴らしいと思っているのは、事業の改善だとか子供たちにどんな力をつければよいのかという研究開発が行われているということです。いわゆる教育の創造という分野で研究をしていくことが菅原市長の言う日本一に繋がって</p>

	<p>いくと思っております。</p> <p>教職員の資質の向上という点では授業の力をつけるため ICT 等を使用して取り組んでいますし、子供たちも ICT も活用して学力をつけてきています。そういうものを教育大綱の中に大きい形で載せてほしいと考えます。</p>
委員	<p>教育振興計画のウェブサイトへのアクセス数がかなり少ないようですが、これはみなさん教育振興計画に興味がないからという理由だけではないと思います。計画に興味を持っている人もいるだろうし、全体像を分かりやすくすることで、もっと教育に興味を持っていただけるのであれば画期的なことだと考えます。</p> <p>教育振興計画や大綱に関しては、戸田市にとって ICT は欠かせないところにあります。例えば今回コロナで学校にいけない期間がありました。今まで先生たちが研究をして子供が自ら楽しみながら勉強できるように進めていき、ICT を使って各家庭に配信をしたことにより、三カ月の休みの期間中も子供の学ぶ姿勢が崩れなかったのかと思います。そういった緊急事態が起こっても子供たちは負けないでやりぬくという方向に向かっていけたことは学校が提示できたと考えます。</p> <p>デジタルもアナログも使ってというのを戸田市の一つの売りとして、子供たちの学ぶ姿勢につながっていけるようなものになればと思います。</p>
委員	<p>コロナの影響下、リモートの授業など先生たちは色々工夫して取り組み素晴らしい成果を上げています。環境的には個々の家庭の事情もあるということも検討して行って、子供も保護者も教育というところから戸田市が大好きになってくれたらいいなと思っております。</p>
教育長	<p>市の教育大綱の策定にあたっては、国と県の大綱や教育振興計画において強調されていることを流れとして汲みながら、独りよがりにならないような計画を作るよう気を付けなければならず、誰が見ても基本を押さえているということが分かるような内容にするべきであると考えます。</p> <p>また、頭でっかちの計画としないことも重要です。立派な文章が並べられていても、実践者である教師、家庭や行政職員などがそれぞれの立場でその意味を理解して行動に移せないといけません。できるだけ分かりやすくシンプルな言葉を使い 1 枚程度のものにして、可能であれば、動画で発信する等マルチメディア化できればよ</p>

	いと考えます。
市長	<p>委員の皆様、大変貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>戸田市の教育は全国で注目されておりまして、教育振興計画にはどういった思いでやっていくのかを盛り込み、分かりやすくしていくことが大切でございます。全国からの注目が先生のモチベーションにもつながるのではないかと思います。</p> <p>ICT 教育の内容も大綱作成において生かしていきたいと考えます。また、先人がやってきた教育内容を大綱に結び付けていければよいと思っております。</p> <p>また、私の子供もタブレットを使いこなしてオンライン学習を楽しんでいるようで、他の市ではあまりこういうことはないのかと思いました。オンライン学習の環境などを整えて、国で進められている GIGA スクール構想に皆さんと協調して対応して参ります。</p> <p>教育委員会事務局からのご説明にもあったとおり、新たな教育振興計画は本年度末に決定する状況です。そのため、教育大綱につきましては、その教育振興計画の決定に合わせて、改めて本年度末の戸田市総合教育会議において策定させていただきたく思います。</p> <p>以上で、議題（１）を閉じさせていただきます。</p> <p>続きまして、議題（２）の「市民の安心をまもる学校における防災について」でございます。</p> <p>この議題では、主に２つのテーマについて、取り上げたいと思います。</p> <p>１つ目は、「学校における避難所運営について」です。昨年は、令和元年東日本台風が発生し、市内の避難所には多くの市民が避難する事態となりました。河川の氾濫からの大規模な浸水被害が想定される中、垂直避難の実施など、これまでにない厳しい状況となったところです。このような中、学校における避難所運営につきましても、いくつかの課題が見えてまいりました。つきましては、この課題を共有し、よりよい避難所運営に繋げるため、皆様のご意見を賜りたく思います。</p> <p>２つ目は、「学校における防災教育について」です。地震や台風等の災害発生時に児童が身を守るための行動をとるためには、学校における防災教育も大きな役割を担っていると考えております。</p> <p>それではまず、「学校における避難所の運営状況について」、危機管理防災課から説明をお願いします。</p>
出席職員	議題（２）「市民の安心をまもる学校における防災について」

①学校における避難所運営につきまして、資料に基づき、ご説明いたします。

はじめに、令和元年東日本台風の避難所の開設・運営について、報告をいたします。

台風第19号の際、10月12日土曜午前9時に、市内の東部・西部・新曽の3福祉センターを自主避難所として開設し、自主的に避難を希望する方の受け入れを行いました。その後、10月12日土曜午後11時頃の夜中に、荒川の水位が避難情報を発令する基準水位に達する見込みとなりましたので、避難情報発令基準水位に達する12時間前、10月12日土曜午後1時頃、昼間の明るい時間帯で、避難時の危険性が比較的 low、避難する時間にも猶予がある日中に、避難情報「避難準備・高齢者等避難開始」を発令しました。

この避難情報の発令により、自主避難所の3福祉センター及び市内18小・中学校を含め、合計28施設の指定避難所を開設いたしました。避難者のピークは、10月12日土曜午後9時で、4,459人の方は避難されております。

台風の通過とともに、市内の道路冠水状況が解消され、荒川の水位の低下も確認でき、また、避難者も自宅へ戻り始める方が増えてきましたことから、明るくなった10月13日日曜午前7時に、順次避難所の閉鎖を始め、午後1時30分に、全避難所閉鎖に至ったところでございます。

それでは、資料に基づき、学校における避難所運営の課題についてご説明いたします。

課題でございますが、「市災害対策本部から、学校への連絡が遅かった。」、「事前に地震対応だけではなく、水害についても、市、町会・自治会、学校の三者で十分に打ち合わせをしておく必要があるのではないか。」、「施設の鍵の保管場所など細かい点についても、事前に話し合い、確認をしておく必要がある。」、「市の避難所指定職員が4~5名では、人数が足りないのではないか。」、「垂直避難の場合を想定し、足の不自由な方の移動方法など対応の仕方も事前に検討しておく必要がある。」、「避難した方への情報提供のため、テレビ等をどのように活用していくのか検討する必要がある。」、などの課題が挙げられております。

市職員も、災害対策本部従事職員、避難所指定職員各々が、本部対応や避難所対応など、事前対応から災害発生時における行動などを振り返り、反省点や課題の抽出・共有を行っております。

今後の避難所運営の課題解決に向けた取り組みの構想といたし

まして、現在も既に、避難所の開設・運営を円滑に行うことを目的に、7月ごろから、学校長や教職員の方と、避難所指定職員との顔合わせのためのお時間をいただき、お互いの連絡先の確認や各学校の避難所施設利用計画の確認・意見交換の機会をつくっていただいております。

今後は、台風第19号における課題の解消や教訓を生かし、避難所の円滑な開設・運営ができるように、この顔合わせの機会に加え、「市職員」、「学校関係者として、学校長、教頭、主幹教諭又は教務主任」、「町会・自治会」の3者による「避難所運営委員会」を設立したいと考えております。

「避難所運営委員会」の設置により、平素から避難所運営に係る詳細について事前に調整や議論する場を設けることで、顔の見える関係を構築するとともに有事に備えた体制づくりにつなげるものでございます。

具体的な構成案といたしましては、15人程度から成る委員会を設置し、運営リーダー1人と副リーダーを数名選任し、避難所運営に必要な事項について、班編成とその役割などについて協議し、災害時の避難所運営をイメージすることを繰り返し行っていきます。

有事の際は、あらかじめ定めた班編成で各副リーダーを班長として分担し、避難所を運営していくというものでございます。

具体的な班編成と役割につきましては、避難者の受付・誘導等を担う「総務班」、食料の受入・配給等を担う「食料班」、トイレやゴミ対応など衛生管理を担う「環境班」などが想定されます。一定の統一された避難所運営は必要とは思いますが、各避難所運営委員会において、より詳細・具体的に議論することで、実情に沿った班編成としていただくことが望ましいものと考えております。

今後のスケジュールでございますが、地域の町会・自治会には、既に、昨年度に、避難所運営委員会の設置について提案しており、現在、設置に向けた調整を進めているところでございます。現在は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施の時期を見定めているところですが、感染状況を勘案し、できる限り早い時期に、避難所運営委員会を設置できるよう取り組んでまいります。

また、学校の場合は、学校長、教頭、主幹教諭・教務主任の方との調整をさせていただき、令和3年度の実施できる避難所から順次設置させていただければと考えております。

将来的には、避難所運営委員会の設置及び班編成が固まった避難

	<p>所では、避難所運営訓練の実施も企画したいと考えております。</p> <p>説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>続きまして、「学校における防災教育について」、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
出席職員	<p>防災教育については、計画的に行っており、災害を想定した避難訓練や保護者への引き渡し訓練等も実施しています。</p> <p>学習内容としては、例えば、小学校5学年社会科において、日本で発生した自然災害について知り、自分たちの生活を守る方法を自助・共助・公助の視点から調べ、発表する活動や、中学校第2学年理科において、資料を基に、台風や前線による大雨や強風等の気象災害について調べ、天気の変化や日本の気象と関連づけて考察する学習などを行っています。また、今年度からは、小学校第4学年において、身近な地域で発生した災害をとおして、県庁や市役所の働きや防災について学ぶ内容も扱うこととなっています。</p> <p>実際の授業でも、昨年の台風19号の際に、町にあふれた水かさが、短時間でどれだけ増えたのか、当時の被害の写真も使いながら、子供たちが自分ごととして捉えられるよう教材を工夫したり、校内の防災施設について学んだ後に、保護者の協力も得ながら、各家庭での防災について学んだりするなど、各学校で工夫して取り組んでいます。</p>
市長	<p>ただいま、「学校における避難所運営について」と「学校における防災教育について」について説明がありました。学校における防災教育につきましては、水害に悩まされてきた戸田市の実情にあったこれからの防災教育の可能性についても、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。</p>
委員	<p>学校教育の中で防災教育というものを着々と今やっているということがわかりました。特に去年どういった事態が起きたのかということをお子たちに知らせるのはとても大事だと思います。</p> <p>今回九州であった豪雨では訓練をしていたけれども訓練を超える事態が生じたということが報告されたようです。とはいっても訓練をしておくことはとても大事なことです。</p> <p>去年の戸田市の台風第19号の場合も、学校に行ったときに何がどこにあるかわからない、どう避難したらいいかなかなか難しかった、ということがあったようです。昔でいう父母参観ではないですが、学校公開のようなもので学校の周りの地域住民を対象に学校の中はこうなっているというのを見てもらい、動線を確認してもらっ</p>

	<p>ておくというのは具体的なケースとしてはいいのかなと思います。そのとき可能な限り子供も一緒に来てもらうことで訓練にもなるのかと。避難所運営委員会という組織を作るのもいいですが、福祉センターも含めて現場を見てもらうということがあってもいいのかなと思います。</p>
委員	<p>災害があったときにどうするかということですが、台風第19号のことも踏まえて、学校と関連する避難所運営委員会を設立するということには賛成です。最終的に一番早く駆けつけられるのは町会の皆様ですので、町会の皆様が学校のことが分かるよう調整を取る必要があるかと思います。</p> <p>また、大事なことは、先生の第一義的な役割は子供の安否確認や早く授業を再開できるよう考えること、ということです。熊本の地震があった際は、普段から学校と自治会が連携を取っているため、先生は子供の面倒を、他の施設の部分は自治会の皆様がやる、という役割分担ができていたことに感銘を受けました。なぜそれができたかといえば事前に両方で調整や打ち合わせをしていたから、つまりは運営委員会のようなものがあつたからであると思います。</p> <p>ですので、運営委員会というものを大事に進めていってほしいと思います。</p>
委員	<p>台風第19号の際には私自身近隣の中学校に避難しましたが、避難グッズの準備が早いなど、対応がすばらしいものでした。余談ですが、3階に避難をされていて水位が上がったら4階に避難するということだったのですが、3階までしかない学校はどうするのか、また備蓄倉庫が1階にあるところはどのようなのだろうといったことが気になったということがありました。</p> <p>今後そういうことがあったときに運営委員会の色々なところが連携していることは非常に大事です。先生が知っていることを共有しておかないと、いざというときは夜中だったりするので、近くに先生がいないということが考えられますし、水害の影響で来ることができないという状況もあります。</p> <p>そういったとき頼りになるのは地域の力なので、誰かが動けるような状況ではないとせつかくの組織が使えなくなってしまうので、共有していく内容を大事に考えていかなければならないと思いました。</p>
委員	<p>避難所にいればある程度情報が入ってくるのですが、家庭で自主避難をしているような場合、どこへどのように連絡をすればい</p>

	<p>いのかが分からないので、学校と家庭と地域を繋ぐような連絡網があれば安心できる部分があるのではと思います。</p>
教育長	<p>防災教育の意識に関しては、自分には関係ないというところから、とても大切であるという意識の流れになってきているのが現状なのかと思います。</p> <p>避難所運営委員会の中で学校関係者を校長、教頭、主幹教諭又は教務主任等としているところですが、ぜひコミュニティー・スクール（学校運営協議会）を加えてほしいと思います。その代表や運営協議会委員長をメンバーとして入れるとか検討してほしいところです。</p> <p>また、学校の中でこれからやるべきこと、市役所側でこれからやるべきことを3点ずつ申し上げます。</p> <p>学校の中でやるべきこととして、まず1点目は防災教育にアクティブラーニングを取り入れてほしいということです。講義型では子供の心に響かないと思います。2点目は教科等横断的な学びを超えたPBLによる防災教育を取り入れることです。3点目は、DIG（ディグ）という防災教育方法がありますが、地域学習として水が出やすい場所をマッピングしていくなど、子供自ら防災地図を作るという学習を取り入れてほしいと思います。</p> <p>次に、市役所側をお願いしたいこととして、1点目は、地域の災害の歴史を子供が知らないことが多く、繰り返し同じ災害が起こる可能性もあるので、学校にその知識をアウトリーチしてほしいと思います。2点目は、ハザードマップは細かければ細かいほどよいので、学区のハザードマップを作らせる学習というのを構想に入れてほしいと思います。最後に、避難所運営そのものを子供に考えさせるPBLの学習を取り入れることで防災意識の啓発につながるので検討して行ってほしいと思います。</p>
市長	<p>大変貴重なご意見をいただくことができました。</p> <p>特に学校はどうしても地域の方にとって少し遠く感じる存在です。委員の言うように学校を開いていくということは必要なかと思いますが、学校での防災訓練はまだ全市的には広がっておらず、町会で実施する防災訓練がほとんどです。逃げ遅れた場合は学校が最後の砦となるのだということ認識しながら進めていきます。</p> <p>また、防災士の方が勉強していることを学校の中に取り入れ「子供防災士」というものがあったらいいのかと感じました。</p>

	<p>さらに、子供たちの親御さんも戸田の歴史を知らない方が多いので、子供たちから親に教えることができるようにすることによって防災意識を向上させていくという方法もあるのかなと思います。</p>
教育長	<p>地域防災を巡回していると中学生がほとんどいない状況ですが、地元で一番の戦力となるのが中学生ですから、中学生の防災士を育ててほしいと考えます。学校では地域防災に参加するよう繰り返し言っていますが、部活や照れがあるのか、なかなか参加しないようです。</p> <p>市役所のシステムを使って地域等で中学生をまき込みたくさんの中学生が参加して中学生防災士が毎年何人もできるような仕組みを進めていってほしいと思います。</p>
市長	<p>委員の皆様、大変貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>以上で議題（２）を閉じさせていただきます。</p> <p>続きまして、「議題（３）その他」でございますが、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>その他につきまして、「学校施設の整備状況について」報告がございます。</p> <p>市長部局と教育委員会事務局と連携して実施している学校施設の整備については、本年度、平成 29 年度から開始している戸田東小学校・戸田東中学校の改築事業の本体工事が完了いたします。また、戸田第一小学校の改築工事や、新曽小学校、芦原小学校の教室棟増築工事など、計画的に施設の整備を進めている状況です。</p> <p>つきましては、この場を借りまして今後の学校施設の整備状況について報告するものです。それでは、詳細につきまして資産経営室から説明をお願いします。</p>
出席職員	<p>資料「学校施設の整備状況」をもとに事業の①から④までを説明します。</p> <p>まず事業概要①「戸田東小・中学校」につきましては、既に発注をしているⅠ・Ⅱ期工事、そしてこれから発注するⅢ期工事に別れます。Ⅰ期工事については屋内プールの新築と、それに伴う既存屋内運動場と既存プールの解体となっております、令和元年 9 月 2 日にプールの開所式を行ったところであり、Ⅱ期工事については小中学校の校舎の改築となります。これにつきましては令和 3 年 4 月 1 日の供用開始に向けて現在建築中です。Ⅰ・Ⅱ期工事については併せて工事の発注を行っておりまして契約金額約 57 億円となっております。</p>

	<p>これから発注予定のⅢ期工事につきましては、既存校舎解体、既存屋内運動場改修・武道場改修、外構工事等を複数の工事に分割して発注する予定となっております。工事の発注金額は合計約 15 億円を予定しております。令和 3 年 1 月から令和 4 年 6 月まで工事を行う予定です。</p> <p>事業概要②「戸田第一小学校」については校舎の老朽化に伴う建て替え工事で、工事概要は資料記載のとおりとなります。令和 3 年 10 月から令和 6 年 12 月頃まで工事を行う予定としており、現在設計を進めている最中です。</p> <p>事業概要③「新曾小学校」については生徒増への対応と給食調理場の新築に伴う校舎の増築となっております。工事後の校舎の運用及び動線を考慮しまして一部既存校舎を解体して増築を行う予定となっております。工事の時期につきましては令和 3 年 10 月から令和 6 年 12 月頃を予定しております。</p> <p>事業概要④「芦原小学校」については生徒増への対応と、生徒の増加に伴い給食提供数が不足することから給食調理場を含む校舎の増築工事となっております。工事時期としましては令和 4 年 10 月から令和 6 年 10 月頃を予定しているところです。</p> <p>学校施設の整備状況は以上となります。</p>
市長	<p>ただいま、「学校施設の整備状況について」について説明がありましたが、ご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
委員	<p>学校の環境整備が進んでいるようで喜ばしいことです。この環境整備は教育投資になり、これはやがて実を結び効果が出てくると思いますので積極的に支援して行ってほしいと思います。</p> <p>同時に情報環境あるいは学習環境をどうやって整えていくかということについては、戸田市も既にやっておりますが、さらに進めて市民全員がいつでもW i f i が使える環境を整えることで住みやすい環境ともなるのではないかと思いますので、G I G A スクール構想を広げて行ってほしいと思います。</p>
委員	<p>このコロナ禍の中最先端のオンライン学習を行うことができましたが、どの家庭でもW i f i が使える、思い切って市全体で使えるよう挑戦していただければよいかなと思います。</p>
市長	<p>市内全体でW i f i が使えるようにするという点に関しては、コストがどうしても難しいのかもしれないと考えております。</p> <p>コロナでどれくらい税収が落ちるかわからない状況でもありますが、市民の生命と財産、そして子供の教育を確保できるよう進め</p>

	ていきたいと思います。
委員	<p>パソコンを開いたらW i f i が繋がるという状況があったら素晴らしいと思います。</p> <p>今回のコロナによる自粛中であつた際に、公共施設が閉じていてW i f i は使えなかつたのでその点ご検討お願いします。</p>
市長	<p>以上で「学校施設の整備状況について」を閉じさせていただきます。</p> <p>最後に私から、学校における新型コロナウイルス感染症対策について、取り上げたいと考えております。「とだっ子」の学びのため、感染症対策を行いながら、教育委員会をはじめ教職員の皆様の多くの試行錯誤があつたと伺っております。</p> <p>つきましては、学校における新型コロナウイルス感染症対策の実施状況について、情報共有を図っていただきたく、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
出席職員	<p>学校の新しい生活様式について資料「一学校の新しい生活様式一」の2ページと3ページ目の感染症対策について説明させていただきます。</p> <p>こちらは日常生活や学校生活において先生の参考となるよう作成したものです。学校の新しい生活様式として生活のポイントとして5つあげています。</p> <p>まず、感染症対策のポイントとして、感染源を断つ行動、3つの徹底、規則正しい生活があります。そしてマスク着用の留意点については3点記載しております。また、家庭に確認しておくこととして、発熱の風の症状がある場合、登校前の検温、健康観察等、登校後に体調が悪くなつた場合、規則正しい生活、速やかな学校への連絡等、お願いしたいことを記載しております。</p> <p>2つ目のポイントは登下校時です。こちら4点ございます。ソーシャル・ディスタンスですとか、登下校時暑い時期はマスクを外してよいですとか、密にならないようにするとか、石鹼による手洗いを徹底するということが大切でございます。</p> <p>3つ目のポイントとしては休み時間の過ごし方です。こちらは6点ございます。廊下や階段で密集を避ける、会話の際はマスクをつける、必要のないフロアに行かない、休み時間は換気をする、トイレの後には石鹼による手洗いをする、ソーシャル・ディスタンスを保つ、という点でございます。</p> <p>4つ目のポイントは給食時です。これにつきましては、配膳前や</p>

	<p>配膳中、食事中、片付けの際の細かいポイントを記載しております。</p> <p>最後に清掃時のポイントです。こちら5点あげさせていただいております。清掃場所は必要最低限とする、マスクを着用し必要最低限の発言をする、可能な範囲で教室等の入り口や窓を開けて行う、終了後は石鹸による手洗いをさせる、清掃は短時間で終了できるように工夫する、というところです。</p> <p>教育総務課からは消毒液の配布そして体温計などの配布をして感染症対策を進めているところです。</p> <p>感染症への対策については以上です。</p>
出席職員	<p>子供たちの心のケアと学びの保証について報告させていただきます。</p> <p>突然の休校によって子供への様々なストレスの影響が懸念されたことから、子供たちの心のケアのために7月から開始予定であったSNS相談を4月下旬に前倒しをして実施をいたしました。現在も継続して実施しております。</p> <p>学校再開後は各学校でアンケート調査ですとか面談を実施して、心配なお子様の把握に努めております。</p> <p>学びの保証という点につきましては、資料「オンライン学習について」を参照しながら説明いたします。</p> <p>オンライン学習についてはリアルタイムで実施するものすとかオンデマンドで実施するものなど様々な形態がありますが、臨時休校中は学校や家庭の負担、あるいは、家庭環境の違い等も考慮して授業動画の作成・配信が段階的に進め最終的には学校と家庭の双方向の取り組みを実施するような学校もございました。特に子供が家庭の方以外と繋がっていると感じてもらえるよう、また、学校再開後に円滑なスタートに繋がるよう、各学校の学級担任ですとか教科担当を中心にオンライン学習を進め、教育委員会はその支援を行うことで、地域の実情に応じた取り組みを行ってまいりました。4ページは具体的な支援の例となります。特に家庭への端末の貸し出しが実現できた自治体は全国では数少なかつたと思いますが、当市ではこれまで市長及び関係部局の理解を得て整備を進めてきた資源を最大限に活用し、子供たちの学びの保証につなげることができたと考えております。</p> <p>5ページ目以降は各学校の取り組みの例をまとめたものです。まだ入学もしていない段階でしたので学校・先生をまず知るところから、学ぶこと・学び方を知る、さらに未習内容の家庭学習の</p>

	<p>補助等、段階的に進めました。子供たちと顔が見える関係を作ることで子供の心のケアに繋がったかと思います。各学校には保護者の皆様からオンライン学習を行ってもらってよかった、先生方が声をかけてくれてよかった、生活リズムが取り戻せた等のお言葉が寄せられています。</p> <p>オンライン学習を進める中で対処できた部分はありませんでしたが、実施の可否が家庭の端末や通信環境の有無に依存してしまったなど課題もございました。学校からの端末の貸し出しをはじめとして、ここでも様々な配慮もしてきましたけど、こういったことも継続的な課題と考えております。</p> <p>11 ページ以降は今後特定の学級・学年・学校だけ臨時休校となった場合を見据えた備えとして、また、Withコロナ時代における学びの量的・質的な確保のための学習の在り方として、オンラインとオフラインを組み合わせた戸田型のハイブリット学習としてまとめたものになります。</p> <p>資料「学校の新しい生活様式」の4 ページ目以降のアイデア集というページには、新しい学校の生活様式の中でも子供たちが積極的に議論を行うことが難しい状況ですので、そういった状況を乗り越えるため手立てとして教育委員会から学校に示しております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>文科省のホームページに戸田市の取り組みが取り上げられたと聞いております。</p>
<p>出席職員</p>	<p>Withコロナ時代の自治体の取り組み例ということで、戸田市という名前は出ておりませんが、当市の取り組み内容が掲載されております。</p>
<p>市長</p>	<p>市内の学校では新型コロナウイルス発症の例は現在ないところですが、あるものと思って取り組んでいったほうが良いのかもしれないと思います。発生した際にクラスター化しないよう、被害をとどめるようにしなければならないかと思います。教育委員会での取り組みも先進的にやってもらっていますが、財源だけでなく保健師といった人材などの市役所のリソースを生かしていただいて、公的機関でクラスター化を抑え込まなければならないと思います。</p> <p>オンライン学習については、戸田市に関してはGIGAスクール構想が進められていて、戸田市でも今年度中に一人一台が達成できるよう調整しています。戸田市は他市に比べても発射台が高く、一</p>

	<p>人一台が実装されたら更なる飛躍が見込まれるかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>他に意見はございませんか。</p>
委員	<p>戸田市の発射台が高くなったのは産官学民といった戸田市以外の力によるものが大きいので、外部との連携を積極的に行ってほしいと思います。市長にも色々なところに依頼をしていただけるようお願いしたいと思います。</p>
市長	<p>おっしゃるとおり外部との繋がりから様々な情報を得たり、企業から様々な無償提供をしてもらえます。さらに、そこにコストがかからないという利点があります。</p> <p>市役所も産官学民の協力を推進すべく公民連携ファームを設置しているところです。また今後は民間企業への派遣などの人事交流もやっていこうと考えております。</p> <p>以上で議題（3）その他を閉じさせていただきます。</p> <p>本日予定されておりました議題はすべて終了しました。委員の皆様、本日はありがとうございました。</p>
事務局	<p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、令和2年度第1回戸田市総合教育会議を閉会とさせていただきます。なお、後ほど議事録を作成させていただきますので、ご確認のご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人は次に署名する。

令和2年 9 月 17 日

菅原文仁

戸ヶ崎 勤

仙波 憲一

鈴木 晃

土肥 美奈子

木村 雅文